

埼玉の会社

配送員に「二重契約」

提訴も検討 雇用と業務委託

埼玉県のプロパンガス販売会社の配送員が「雇用」と「業務委託」の二重契約を結ばされ、労働者として指揮命令を受けながら車両リース代など全経費を給与から天引きされたとして、労働組合を結

成した。天引きをやめることなどを求めて18日、会社側に団体交渉を申し入れた。

労働組の井上潤一委員

長によると、販売会社の雇用契約は固定給22万円で配送本数に応じた賃金が積み上げられ

る一部歩合制。ところが車両リース代やガソリン代など経費は配送員持ちで、使途不明の管理費まで天引きされ、控除が給与を上回り、支給額がマイナスになる場合が多い。

井上委員長は「月に

1000本配送すれば固定給分を維持できるが、前夜に配送地域を言い渡される仕組み

で、効率よく回れないため数百本が限界」と話す。会社からの借金の6%の利息まで天引きされ、辞めるに辞められなくなるという。

組合には既に27人が加入。支援する加藤晋介弁護士は「雇用だと言って労働者を指揮命令し、業務委託だと言っただけの経費を負わせる、ひどいやり口。労働基準法違反で提訴も検討している」と話している。【市川明代】